

令和4年度第1回岡崎市放課後児童クラブ支援員研修会レポート

【日時】 2022年(6)月(10)日(金) 10時~11時45分

【会場】 岡崎市役所福祉会館 6階大ホール

【内容】 放課後児童クラブにおけるアレルギー対策のポイントとエピペン実習

【講師】 中西里映子さん(NPO 法人アレルギー支援ネットワーク)

【クラブ】(たけのこクラブ)

【名前】(岩井 里真)

本日の研修で心にのこったことや気づいたことや学んだこと、今後の実践に活かしていきたいことなど、感想もふくめてお書きください(自由記述)。

現在、私の学童にはアレルギー疾患を持った子どもがいなかったためアレルギーについて考えることが減っていましたが、今回の研修を受け改めてアレルギーに対して対応できるスキルを身に付けておく必要があると感じました。

今回の研修の中で最も重要性を感じたのは『重症度を知ることが大切』という点でした。一口にアレルギーといっても重症度によって指導員の対応や備えが変わってくるのは勿論、日ごろから子ども達に提供できるおやつや食事の内容が変わってくると思うので対象児のアレルギーに対する重症度をしっかりと確認し理解しておく必要があると感じました。その為にも対象児の保護者や場合によっては担当医との連携をしっかりと行うとともに、自分自身のアレルギーに対する知識や対応法、また、成分表の見方をしっかりと学ぶ必要があると感じました。

また、今回の研修で新たに学んだことは、災害時のアレルギー対応に備えるという事でした。自身やその周りにアレルギー疾患を持った人がいなかったこともあり、災害への備えは考えていても、災害時のアレルギーへの対応を考えたことはありませんでした。これを機に念頭において、アレルギー疾患を持った子が入所した際、災害対策もできるようにしていきたいと思いました。

エピペンの使い方はこれまでもやってきましたが、実際に使う事はありませんでした。使用することがないことは良いことですが、対応する必要が来てしまった時に咄嗟に使用できるよう、私自身もちろんですが、クラブ内での役割や対応できる大人の数が少ない時の為に高学年の子ども達にもこういった知識を伝えていける指導員になりたいと思いました。